

MakeMapIni 取説

MakeMapIni は MapK で使用する地図を作成するためのアプリケーションです。

MapK で使用する地図は、BMP ファイル、CSV ファイル、INI ファイルの 3 つのファイルで構成されます。

BMP ファイルは地図の画像ファイルです。Google マップから切り取る、市販の地図をスキャンする、手書きする、などどんな方法でも構いませんので、予め準備してください。

MakeMapIni は CSV ファイルと INI ファイルを作成するためのアプリケーションです。

MakeMapIni をインストールする

MakeMapIni フォルダ内の INSTALL.EXE を実行し、指示に従って MakeMapIni をインストールしてください。

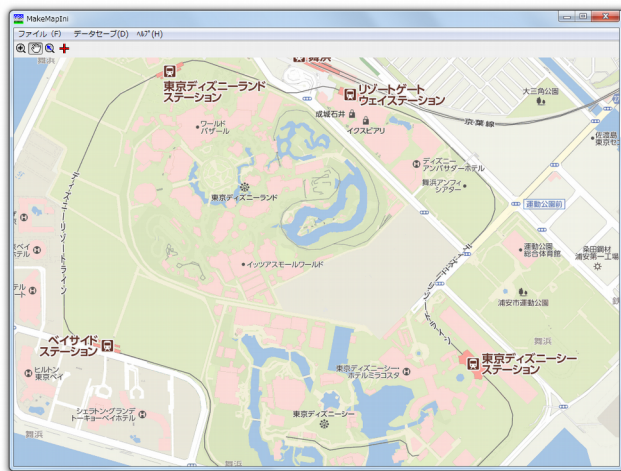
BMP ファイルを用意する

予め用意した BMP ファイルを適当なフォルダに入れてください。

MakeMapIni は BMP ファイルが存在するフォルダに CSV ファイルと INI ファイルを作成します。

MakeMapIni を起動する

1. MakeMapIni を起動します。
2. 「地図の bmp ファイルを開く」ダイアログが表示されますので、BMP ファイルを選択し、「開く」をクリックします。
3. BMP ファイルが表示されます。



⊕ 地図の拡大縮小

マウスの左ボタンで地図を拡大、右ボタンで縮小します。
なお、マウスホイールでも拡大/縮小できます。

🖱 地図のスクロール

地図をスクロール出来ます。

📍 選択

設定済みのポイントを選択し、修正/削除が行えます。

✚ 設定

ポイントを設定します。

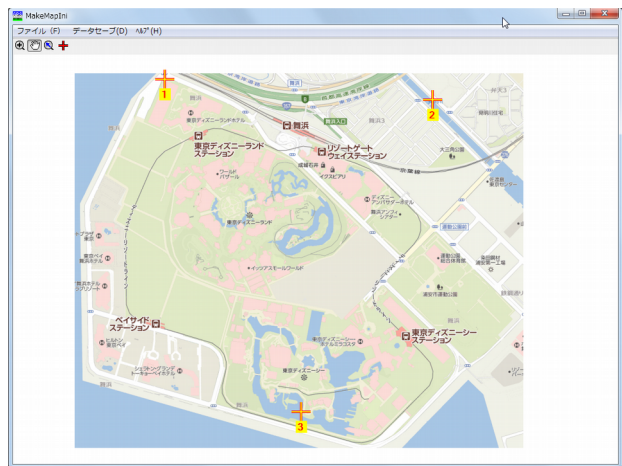
4. ポイントの設定

ポイントとは地図に緯度経度を定義するための基準点です。



ポイントは地図上のなるべく離れた位置に 3 点設定します。


まず、3 点設定後のサンプルを示します。

このようになるべく離れた位置で緯度経度を特定しやすい位置(交差点や建物の角等)に設定してください。



ではポイントの設定方法を説明します。

まず、、を使って、ポイントを設定する部分を拡大します。


次にを選択し、ポイントを設定する位置をクリックします。

「ポイントデータ」ダイアログが表示されますので、緯度経度を入力し、「OK」をクリックします。



これでポイントが設定されました。

続けて残り 2 点を設定します。

設定済みのポイントを修正したい場合は、を選択し、設定済みのポイント位置をクリックします。

設定済みのポイントデータが表示されますので、緯度経度の修正またはポイントの削除を行います。

5. データをセーブする

ポイントの設定が完了したら、メニューの「データセーブ」をクリックします。

データセーブをクリックすると、BMP ファイルが存在するフォルダに CSV ファイルと INI ファイルが作成されます。

これで地図の作成は終了です。MakeMapIni を終了してください。

複数枚の地図を作成する場合は、上記の手順を繰り返してください。